

地盤工学・実務シリーズ24 山岳トンネル工法の調査・設計から施工まで 正誤表 (19.10.9)

	誤	正
執筆者名簿	朝倉俊弘 1.1, 1.2.1~1.2.3 笹尾春夫 1.1 小野田 滋 1.1, 1.2.4	朝倉俊弘 1.1, 1.2 笹尾春夫 1.2.1, 1.2.2 小野田 滋 1.1, 1.2.3
目次	5.2.2 先行支保工 (プレライニング)	5.2.2 先行支保 (プレライニング)
P. 39 表-2.16	I_N A岩種 $3.8 > V_p \geq 3.2$ B岩種 $4.4 > V_p \geq 3.8$ C岩種 $3.6 > V_p \geq 3.0$	I_N A岩種 $3.2 > V_p \geq 2.5$ B岩種 $3.8 > V_p \geq 2.9$ C岩種 $3.0 > V_p \geq 2.5$
P. 107 左段下から12行目	支保工効果	支保効果
P. 129 図-5.2	(図と補助工法名称が逆)	左図 長尺先受け+長尺鏡補強 右図 充填式フォアポーリング
P. 137 図-5.17	(図中の等分布荷重の記号) 10	w
P. 155 右段17行目	28) 前掲 28), pp. 3~58.	28) 前掲 27), pp. 3~58.